

# 整形外科専門医研修ネットワークプログラム

## 1 はじめに

プログラムリーダー フジ虎ノ門整形外科病院 理事長 土田博和

日本の医師数は先進国の中でも最低レベルですが、この静岡県東部地域は人口の割に病院が少なく、また静岡県東部でも東京から1～2時間圏内にも関わらず、医師不足は深刻な問題になっています。

また最速のスピードで進む高齢化により、医療需要も逼迫しています。

今回整形外科の卒後研修及び専門医取得のために、東部地区で意欲的に活動している病院が協力しあって、ローテイトできる環境づくりを進めてきました。また、長泉町には静岡県立静岡がんセンターがあり、本プログラムによる短期研修も可能です。指導スタッフ、症例数、最新設備等の揃ったこの地区での技術取得、勉学に一人でも多くの医師を期待しております。



## 2 特徴

後期研修医を積極的に受け入れようという病院が集まっています。研修医の希望に応じて柔軟に研修プログラムを組むことができるのが最大の特徴です。

## 3 目的

整形外科専門医を取得することがこのプログラムの目的ですが、より質の高い技術の取得を目指します。また、医療スタッフと協働し地域医療を支える医療機関におけるリーダー的な役割を担える医師の育成を目指します。

## 4 目標

カリキュラムに準拠して研修し、専門医取得を目指します。論文・症例発表等について1施設1演題の発表を目指します。

## 5 研修カリキュラム

日本整形外科学会「整形外科臨床研修カリキュラム」に準ずる。

## 6 研修例

- ・研修医の希望に応じて調整します。
- ・基本的に一つの病院は1年間の研修となります。ただし、例に示したように希望や必要に応じて研修期間の調整は可能です。

## 【例】

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	A病院											

2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	B病院											

3年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	C病院											

4年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	D病院						E病院					

## 7 研修病院群

### 1) 認定施設

#### 医療法人社団 熱海所記念病院

##### ・脊椎脊髄疾患

変形性脊椎症、椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、側彎症、後縦靭帯骨化症、脊椎分離過り症等

##### ・関節疾患

変形性関節症、前股関節症、大腿骨頭壊死、慢性関節リウマチ、足の外科、各種人工関節置換等

##### ・外傷

骨折、脱臼、靭帯損傷、変形治癒の矯正、偽関節、骨髄炎、手の外科

##### ・スポーツ外傷等

小児整形外科：斜頸、先天性内反症、先天性股関節脱臼等

#### 医療法人社団青虎会 フジ虎ノ門整形外科病院

専門医 土田博和(1975年 関西医科大学卒) 小川 裕(1987年 山形大学医学部)

田中泰弘(1983年 千葉大学医学部卒)

川西秀徳(1960年 京都府立医科大学卒) 橋本淑子(1987年 高知医科大学医学部卒)

小松美月(2001年 東京女子医科大学卒) 土田隼太郎(2002年 浜松医科大学卒)

望月一成(1997年 東京慈恵会医科大学卒) 笠原 純(2006年 防衛医科大学校卒)

当院は年中無休 24時間診療を行っている整形外科専門病院です。

日本リウマチ学会教育研修施設の認定を取得いたしました。

あらゆる外傷に対処するために、救急専門医1名、外科専門医1名、脳外科専門医1名、麻酔専門医1名のスタッフで外傷センターを運営しています。整形外科分野は脊椎外科センター1名、スポーツ外傷センター4名、リウマチ関節外科センターに3名のスタッフを配置し、年間1400件程度の手術を行っております。リハビリテーションセンターはPT・OT・ST計44名で、25m プールを備えています。また、骨盤骨切り術、肩関節鏡視下手術等の部位別のスペシャリ

ストを配置しています。勉強会は週2回。将来ホームドクターを目指す人で整形外科をローテイトしたい人、整形外科専門医を目指し多くの臨床を経験したい人はトライしてみてください。

### 裾野赤十字病院

専門医 影山勝弘(1984年 聖マリアンナ医科大学卒)

当院は、主に外傷・骨折手術を行っておりますが、脊椎圧迫骨折などの保存治療も多く診療する地域医療を担う病院です。聖マリアンナ医科大学整形外科の関連病院でもあり、初年度の後期臨床研修医の先生方への整形外科基本手技・指導を行っております。

### 静岡県立静岡がんセンター

専門医 高橋 満(1980年 名古屋大学医学部卒)、片桐浩久(1987年 金沢大学医学部卒)、  
村田秀樹(1997年 防衛医科大学卒)、和佐潤志(1998年 名古屋大学医学部卒)  
保坂聖一(2000年 札幌医科大学卒)

当院は2002年9月に富士山と駿河湾を望む丘陵地に開院したがん診療連携拠点病院です。全床開棟時615床を有して、「患者さんの視点の重視」を基本理念とし、①がんを上手に治す、②患者さんと家族を徹底支援する、③成長と進化を継続する、の3つを患者さんへの約束として最善な医療の提供に取り組んでいます。

当院の整形外科では、原発性骨・軟部腫瘍と転移性骨腫瘍の治療に関して、日本有数の症例数を誇っております。年間の手術件数は、原発性悪性骨軟部腫瘍手術が52件、良性骨軟部腫瘍が73件、骨転移に対する手術が15件ほどで、その他生検を含めて計240件ほどです。

骨肉腫については、手術だけでなく抗がん剤治療を行っております。骨転移がんについては、がんの骨転移をできるだけ早く発見して、最適な治療法を決定する第一段階の役割と、手術が必要な人には手術をおこなうという第二段階の役割、そして骨折をしてしまった患者さんには、体力的にも一番問題の少ない方法で治療するという第三段階の役割を担っております。

いずれの治療についても確実に持続性のある治療法を積極的に行っております。

### 医療法人社団親和会 西島病院

専門医 3名

福岡重雄(1974年 東京大学医学部卒業)、油原美明(1990年 三重大学医学部卒業)  
山下倫徳(2000年 自治医科大学医学部卒業)

症例は、スポーツ整形、脊髄、人工関節(膝関節・股関節)、リウマチなど多岐に渡り、積極的に治療を行う医師が揃っております。

病院は、沼津インターから車で5分、新幹線三島駅より車で15分の、東西への交通の便の良い住宅地にあります。

### 沼津市立病院

専門医 望月眞人(1981年 千葉大学医学部卒)

下山勝仁(1985年 富山医科薬科大学卒)、相庭温臣(1992年 千葉大学医学部卒)

小山忠昭(1988年 千葉大学医学部卒)、門田 領(1998年 名古屋市立大学医学部卒)

当院整形外科は、千葉大学整形外科の関連病院の一つであり、医局より毎年2名から3名の後期研修医を受け入れ研修にあたっております。全ての研修医は、各人の技量も考慮しつつ大学の研修過程に沿って研修してもらっております。

指導体制は、脊椎外科学、外傷学、スポーツ整形外科、関節外科学を中心に専門医が指導にあたっており、後期研修終了時には、基本的な整形外科は十分に習得できる事となっております。また sub special としてさらに研修を望む場合は、大学医局とも連携してご要望に答える事も可能であります。当院整形外科の研修では、短期的な効果を目的とした研修ではなく、長い目で整形外科医を育てる事を目標とした研修を目指したいと考えております。

## 富士市立中央病院

専門医 加藤努(1997年 東京慈恵会医科大学卒)

当院は二次救急病院に指定されており、その関係上四肢の骨折や交通事故による多発外傷、高齢者の大腿骨頸部骨折などを多く診療し治療を行っております。また、外傷だけではなく変形性股関節症や変形性膝関節症に対する人工関節手術なども積極的に行っております。そのほか、膝半月板損傷などに対する関節鏡手術や、腰部脊柱管狭窄症や腰椎椎間板ヘルニアに対する保存治療も行っております。

## 医療法人英志会 富士整形外科病院

専門医 渡邊英一郎(1994年 日本大学医学部卒)、高森 尉之(1996年 千葉大学医学部卒)  
平山博久(1970年 千葉大学医学部卒)、杉原隆之(1991年 東京医科歯科大学卒)、  
木島丈博(2006年 秋田大学医学部卒)

岳南地区唯一の整形外科特化型病院で、千葉大学の研修指定病院でもあります。各種整形外科慢性疾患の保存加療、そして手術加療(膝、肩、肘、足関節の鏡視下手術、人工関節などの関節外科、各種リウマチ手術など)や、骨折、靭帯損傷などの外傷手術を1例1例丹念にこなしていきます。

病院スタッフは整形外科医療専門に洗練されたトレーニングを受けており、整形外科医師にはきわめて働きやすい環境です。病床90床(急性期58床、回復期リハ32床)、年間手術約700件程度。研修医の皆さんには和気あいあいとしたなかにも密度の濃いメリハリの利いた研修を受けていただきます。

## 富士宮市立病院

### 国立病院機構 静岡医療センター

専門医 太田周介(1995年 名古屋市立大学医学部卒)

当院は沼津市と三島市の間駿東郡清水町にある、独立行政法人国立病院機構が運営する病院で、当院整形外科は、名古屋市立大学整形外科の関連病院のひとつです。整形外科常勤医師は4名で、日本整形外科学会と日本リウマチ学会の教育研修認定施設です。主に高齢者の外傷と、関節リウマチをはじめとする関節疾患を治療することが多く、また当院は「地方循環器病センター」として東海北陸ブロックの「循環器病」に関する中心施設に位置づけられているた

め、循環器疾患をもったリスクの高い症例を扱うことが多いです。平成 26 年度からコメディカルと連携をとって高齢者の骨折の連鎖を予防するための骨粗しょう症診療支援サービスを立ち上げ、骨粗しょう症治療と転倒防止への積極的な介入をはじめました。

### 共立蒲原総合病院

専門医 加藤純一郎（1997 年 三重大学卒）

当院は、常勤医 1 名、非常勤医 2 名で診療を行っております。手術症例の大半は骨粗鬆症による脆弱性骨折です。絶対数は多くはないのですが、症例数に対してスタッフが充足していないのが実感です。ということは、診療をより身近に、そして濃厚に研修できるかと考えます。是非、一緒に頑張りましょう。

### 順天堂大学医学部附属静岡病院

### 国際医療福祉大学熱海病院

### 有隣厚生会 富士病院

専門医 大野達朗（1991 年 日本医科大学卒） 原田大朗（1999 年 浜松医科大学卒）

非常勤医師 4 名

平成 23 年に導入した 1.5 テスラ MRI により、診療精度が格段に増しております。新装になった病院の整形外科患者数は 1 日 70 名を超え、リハビリテーションスタッフ（PT 5 名、OT 1 名 ST1 名）と連携を持って患者様の早期回復に力を入れております。日本脊椎脊髄病学会認定の脊椎脊髄外科指導医の常勤採用により、平成 24 年 1 月から脊椎脊髄の手術を開始し、新しくなった 3 室の手術室を活用しております。

平成 25 年の手術件数は 193 例、内全身麻酔は 115 例でした。人工骨頭置換術、人工膝関節置換術、ばね指、アキレス腱断裂、椎間板ヘルニア、頰椎症など広範囲の手術を行っております。さらにモザイクプラスチックを使用した骨移植術に取り組んでおり、骨再生に効果的な低強度パルス超音波療法の採用等新技术も取り入れた治療を行っております。

### 熱海所記念病院

専門医 金井 洋（1988 年 東京医科大学卒）

当院は、急性期 96 床、回復期 48 床を有しております。平成 28 年以降は、同じ医療法人グループに属し 112 床の療養型病床を中心とした病院が近隣に開院されるため、希望者は救急医療、手術、リハビリテーション、慢性期と様々な場面での診療を経験できると思います。特にリハビリテーションに関しては、PT 22 名、OT 11 名、ST 2 名とスタッフも充実しており、休日もリハビリを施行し、患者さんの早期回復を目指しています。

整形外科の常勤医は 2 名、非常勤医 3 名で診療を行っていますが、他科の医師やコメディカルとの連携が良好である為、重症の患者さんや合併症のある患者さんにも早急な対応が可能です。

熱海市は高齢化率が 42%を超えており、高齢者の外傷や変性疾患が手術症例の中心となっております。平成 26 年の手術件数は 160 件でこの内、大腿骨近位部骨折の手術が 81 件と約半数を占めています。

大学病院や自治体の基幹病院と比べると、症例数には限りがありますが、小回りが利く分、いろいろなストレスは少なく、働きやすい環境です。日本整形外科学会の研修施設として認定されており、毎年東京医科大学整形学科教室より後期研修医を1年間のローテーションで受け入れています。

学会への参加、発表等の支援も有りますので、ぜひ当院で研修を受けてください。

#### **中伊豆リハビリテーションセンター**

専門医 園田昌毅（1986年 千葉大学医学部卒）

当センターは、回復期リハビリテーション病棟を主体とする、「リハビリテーション科専門医研修施設」でもあります。適宜、リハビリテーション科研修も可能です。整形外科手術はおこなっていません。詳細は、「リハビリテーション科専門医研修ネットワークプログラム（東部版）」を参照してください。

## 8 病院群の実績（平成 26 年 1 月～12 月末）

	国際医療福祉大学熱海病院 ※	熱海所記念病院 ※	フジ虎ノ門整形外科病院 ※	有隣厚生会富士病院 ※	裾野赤十字病院 ※	西島病院 ※	沼津市立病院 ※	富士市立中央病院 ※	富士整形外科病院	共立蒲原総合病院 ※	静岡医療センター ※	富士宮市立病院 ※	静岡県立静岡がんセンター ※	順天堂大学医学部附属静岡病院
脊椎 (頸椎、胸椎、腰椎、その他)	26	0	206	37	1	457	321	0	0	0	0	90	—	—
関節疾患 (関節鏡を含む)	24	1	64	48	60	83	105	8	148	0	21	27	—	—
人工関節 (膝、股関節、骨頭、その他)	46	30	332	6	14	160	65	123	95	13	84	68	—	—
外傷 <sup>(*)</sup>	76	101	267	25	53	34	320	309	203	42	303	325	—	—
手の外科	23	25	139	37	45	120	20	40	61	11	57	28	—	—
腫瘍	13	1	39	4	24	18	12	7	5	1	18	12	—	—
その他	76	5	495	87	14	130	10	81	98	11	95	139	—	—
全身麻酔 (+ 硬膜外麻酔等)	227	35	1218	115	45	778	620	142	452	35	64	345	—	—
硬膜外麻酔、 又は腰椎麻酔	2	119	106	10	50	29	135	335	97	20	296	193	—	—
伝達麻酔	0	—	17	0	2	42	15	31	92	3	89	37	—	—
局所麻酔	55	9	189	68	120	138	83	14	60	15	128	134	—	—

※は平成 25 年実績

(\*) 人工股・膝・骨頭置換術と人工骨頭は「人工関節」項に含む。手の外傷は「手の外科」項に含む

## 9 研修期間

原則4年間（ただし、研修歴に応じて個別に調整します）

## 10 プログラム参加者の要件

初期研修を修了していること。

## 11 処遇

- 1) 身分
- 2) 給与
- 3) 健康保険等の福利厚生制度
- 4) 医師賠償責任保険
- 5) 休日等
- 6) 宿舎
- 7) 学会費用

原則として、研修する病院の規定に従う。

## 12 プログラム修了後の進路

- 1) 研修病院群へのスタッフとして受入れ可能です。
- 2) 個別の相談に応じます。

## 13 プログラム運営委員（◎：プログラムリーダー）

◎フジ虎ノ門整形外科病院 理事長 土田博和(1975年 関西医科大学卒)

大学卒業後、東京の虎の門病院で8年間整形外科研修。その後イチロー選手でお馴染みのシアトルに遊学。ここで観たものは体系立った卒後研修システムの素晴らしさと、医療以外の事務作業は医療秘書が行っているという効率性の良さで、30年前ですが驚いたものです。勿論オープンシステムを取っている制度的な違いが大きな要素でしたが、教育する方も受ける研修医達も真剣に取り組んでいる姿が印象的でした。当院も「医師は医師としての診療・勉学に集中する」為に医療秘書スタッフ約20名で診療援助を行い、女性医師が安心して働けるよう院内に認可保育園を完備しています。



沼津市立病院 整形外科統括部長 望月真人(1981年 千葉大学医学部卒)

私は1981年千葉大学医学部を卒業後、千葉大学整形外科学教室に入局以後6年間関連病院および大学にて一般整形外科、麻酔科を研修後、さらに脊椎脊髄外科をsub specialとするため卒後7年目で再度大学に帰局、それ以降脊椎脊髄外科を専門としております。脊椎外科医としては、私自身も一生研修と思っておりますが、若い先生方も目先の事にとらわれず、長い目で見た整形外科医としての研修を大切にしてもらいたいと思っております。

**医療法人英志会 富士整形外科病院 院長 渡邊英一郎(1994年 日本大学医学部卒業)**

医療法人英志会 富士整形外科病院 院長 渡邊英一郎(1994年 日本大学医学部卒業)

千葉大整形外科に入局後、関連病院にて研修。大学院では人工関節の素材等の研究にて学位取得し、リウマチおよび関節外科を専門にしています。留学後、君津中央病院勤務を経て、現在の英志会富士整形外科病院（旧 渡辺病院）には平成16年から所属しています。

静岡県での地域が育てる研修医の皆さんが、独自の素晴らしい価値のある研修を受けることができるように、是非頑張っていきたいと思います。

**静岡県立静岡がんセンター 副院長 高橋 満(1980年 名古屋大学医学部卒)**

私は、卒後7年目までは、静岡済生会病院、愛知県刈谷総合病院で救急外傷と脊椎疾患の治療に明け暮れていました。この間にたまたま2人の骨肉腫の患者の治療に関わったことがきっかけで、名古屋大学に帰局後はひたすら骨軟部腫瘍の治療と研究に没頭し、あっという間に25年経ってしまいました。

骨軟部腫瘍の手術は首から足先まであらゆる部位にかかわります。整形外科医としての血が騒ぐところですが、当然、再建には外傷や関節疾患の十分な治療経験が必要です。当院での研修を行う先生方には、この腫瘍切除と骨関節再建の両方の醍醐味を少しでも経験してもらえよう、熱血指導したいと考えています。